

会 議 名	第5回武蔵村山市長期総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年9月22日（月）午後5時から午後6時45分まで
開 催 場 所	301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者：倉持委員、内野委員、岡崎委員、岡田委員、加藤委員、佐伯委員、吉澤委員 欠席者：西村委員、潮委員、高杉委員
議 題 等	1 開会 2 報告 (1) 武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について (2) その他 3 議題 (1) 第五次長期総合計画後期基本計画（素案）について (2) その他 4 閉会
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題(1) 委員の意見を基に素案を修正し、取りまとめることとした。 議題(2) 第6回審議会は、10月10日（金）の午後5時から開催とする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	1 開会 （会長） 本日の出席委員は7名であり、審議会は有効に成立する。傍聴希望者はなし。 2 報告 (1) 武蔵村山市長期総合計画審議会の会議要旨について —事務局説明— 資料1、1－2及び1－3に基づいて説明 修正等がある場合は、9月30日（火）までに事務局まで連絡をお願いする。 (2) その他 特になし 3 議題 (1) 第五次長期総合計画後期基本計画（素案）について —事務局説明— 資料2に基づいて説明

—質疑・意見等—

(会 長) 資料 2 の 2 ページ、デジタル田園都市国家構想総合戦略を説明する図について、色合いが見にくいと感じる。

(事務局) 色合い及びレイアウトを見やすくなるよう修正する。

(会 長) 資料 2 の 3 ページに記載がある「交流人口・関係人口」及び 4 ページに記載がある「D X」については、注釈が必要と考える。

(事務局) 注釈を追記する。

(会 長) 資料 2 の 7 ページ、「2 施策の体系」の左側に記載されている基本目標について、基本目標ごとにもう少しスペースを空けた方が、体系全体を理解しやすいと考える。

(事務局) レイアウトについて検討する。

(事務局) 資料 2 の 11 ページ、K P I 指標「公共交通利用圏カバー率」について、注釈に「市内総面積に対する割合」とあるが、正しくは「居住誘導区域に対する割合」である。

また、8 ページの K P I 指標「市公式 X 「リポスト」数」など、目標値が現況値を下回っている指標があるが、それらについては変更等の調整を行っている。

(会 長) 目標値が現況値を下回る理由を注釈で記載する形でも良いと考える。

(委 員) 資料 2 の 11 ページ、K P I 指標「村山温泉「かたくりの湯」の入場者数」について、令和 6 年度は「一時閉館中」となっているが、参考値として閉館前の入場者を記載した方が良い。

(事務局) 入場者数を追記する。

(委 員) 資料 2 の 5 ページに「視点 4 デジタル技術の活用」とあるが、技術者を育てるといった内容を市の取組として打ち出せると、若い世代が注目するのではないかと考える。

また、9 ページに記載がある「ビジネスプランを対象としたコンテスト」においても、A I に関する教育分野を取り入れてはどうか。

(事務局) デジタル技術に関する教育という面では、公共施設において都が主催するプログラミング教

室を実施した実績がある。

ビジネスプランコンテストにおいては、現状ではAI等に特化したテーマは設けていないが、興味深い取組だと考える。

小中学校では一人一台端末が貸与されており、高校でも科目として「情報」が設置されている。市役所の業務においても、AIを利用することで一定水準の窓口対応を担保することを目指していきたいと考えている。

(委員) 資料2の14ページ、KPI指標「審議会等への女性の参画率」について、「40.0%以上60.0%以下」と設定されているが、上限を設定する必要があるのか疑問である。

(事務局) 武蔵村山市第五次男女共同参画計画において設定している目標値と合わせているため、この数値となっている。

(委員) 資料2の13ページ、「基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」とあるが、若い世代の結婚について、市の取組はあるか。

(事務局) 具体的な取組はできていない。

(委員) 1人目の出産に対する支援より、2人目、3人目の出産に対する支援を充実させた方が人口増加につながると思うが、出産人数によって支援を変えるようなことは行っているか。

(事務局) 出産人数による支援の差別化は現状では行っていない。

(委員) 3人目の出産が人口増加に大きく影響すると思うため、3人目の出産に着目してもらえると良い。

(事務局) 経済的基盤、保育サービスの基盤等も重要だと考えている。

(委員) 資料2の14ページ、KPI指標「認可保育所の入所待機児童数」について、一時期0人になっていたが、令和6年度は4人となっている。何か背景があれば伺いたい。

(事務局) 市内の認可保育所の定員には空きがあるため、希望する保育所の空きを待っている方が

	該当すると考えられる。 (委 員) 保育所ごとの特長があり、人気・不人気が顕在化しているため、平均化できれば良いと考える。 (委 員) 保育園や幼稚園に早めに通所を始めるケースも増えているように感じる。 また、出産人数については保護者が自分の時間を持ちたい、あるいは一人の子どもにお金をかけたいという考え方もある。人口増加のためには出生率を上げることも重要だが、転入して長く居住してもらうことが効果的だと考える。 (会 長) 企業誘致も、それを契機に転入を促進できると考えられるため、人口増加に影響する。 (会 長) 資料 2 の 17 ページについて、「関連する長期総合計画の主な施策」は、上段の文章又は K P I 指標に関連する順番であるか。 (事務局) 素案では K P I 指標に関連する順番であるが、最終的には長期総合計画の該当ページ順に並べ替えることを検討している。 (会 長) 資料 2 の 15 ページ、K P I 指標「子ども食堂の実施数」について、「実施箇所数」に変更した方が良いと考える。 また、子ども食堂を必要とする子どもが減ることが望ましいと思うが、そのための施策はあるか。 (事務局) 表記について「実施箇所数」に変更する。 市としては、子ども食堂を食事の提供だけでなく、市民の交流の場としても推進していきたいと考えている。 (委 員) 資料 2 の 15 ページ、K P I 指標「移動式赤ちゃんの駅の活用」について、内容が伝わりにくいため、表記に工夫が必要だと考える。 (事務局) 表記について検討する。 (会 長) 資料 2 の 19 ページ、K P I 指標「消費者講座の参加者数」及び 20 ページに記載の K P I 指標「健康相談事業参加者数」について、現況値から目標値が大幅に下がっている
--	---

ことについて伺いたい。

(事務局) 消費者講座については学校で開催したことにより、令和5年度の参加者数が多くなったものである。通常の開催方法では目標値が妥当と考えている。

健康相談事業参加者数については、保健師による個別相談を計上しないこととしたため、目標値が下がっている。これに伴い、現況値も修正する予定である。

(委員) 資料2の20ページ、KPI指標「市民の1年間での運動・スポーツ実施率」の現況値が令和2年度のものであるが、更新はされないのか。

(事務局) 次回の調査は令和7年度中に実施予定であるため、現況値は令和2年度のものになる可能性が高い。

(事務局) 本計画は、デジタルの視点をもって施策を行っていくことを前提としているが、デジタルに関連する施策はおそらく全体の2割程度に留まると考えられる。

デジタルに関連する施策にマークを付けることも検討中であるが、意見を伺いたい。

(委員) デジタルの視点をもって施策を行っていくことを考えると、デジタルに関連する施策にマークを付け、分かりやすく整理する方が良いと考える。

(委員) 全ての施策がデジタルの力がないと進まないと考えるため、あえてマークを付ける必要はないと考える。

(会長) 将来的に、デジタルに関連する施策が増加していくという視点も重要である。

(事務局) 意見を踏まえて検討する。

(2) その他

(事務局) 第6回審議会は、10月10日(金)午後5時から開催を予定している。

—質疑・意見等—

(委員) 特になし

	4 閉会
会議の 公開・ 非公開の別	☒ 公開 傍聴者： 0 人 ☐ 一部公開 ☐ 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由
会議録の 開示・ 非開示の別	☒ 開示 ☐ 一部開示(根拠法令等：) ☐ 非開示(根拠法令等：)
庶務担当課	企画財政部 企画政策課(内線：373)

(日本産業規格 A 列 4 番)